

特集「IHI 力」号の発刊にあたって

取締役執行役員 粟 井 一 樹

最近、「世界をつくった6つの革命の物語 - 新・人類進化史」という本を大変興味深く読み終えました。アメリカの作家スティーブン・ジョンソンさんが著し、大田直子さんの翻訳が、2016年8月、朝日新聞出版から発行されたものです。

「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」の6分野に関して、人類が今の暮らしを手に入れるまでにどんな発見と発明の歴史があったのかが、その時々々の社会や生活の変化とともに描かれています。

「ガラス」は古代に存在が発見されたのち、自然由来の装飾品として使われていましたが、ローマ時代に人が扱うことのできる素材となり、窓や杯となりました。13世紀末には北イタリアにガラス技術が集積され、より透明なガラスが誕生し、それはレンズとなって眼鏡、顕微鏡につながり、また、鏡となって自らを見つめる手段となり、巨大な望遠鏡になり宇宙の起源を探っています。さらに、光ファイバーとなり最も効率的な信号伝達手段にも使われるなど、ガラスは現在の私たちの社会と暮らしに不可欠な存在になっていますが、それらが実現するためには、有名無名のさまざまな人々の努力と知恵があったことに気付かされます。

このほかの五つの分野についても、思わず引き込まれる物語が描かれています。紙幅の関係でここまでとさせていただきます。

さて、IHIグループは1853年の創業以来、日本を起点としてさまざまな役割を果たしてきました。安全で快適な国、国土づくり、効率的で環境にやさしいエネルギー供給、大量運搬、高速移動、効率的な生産手段の提供など、社会のさまざまなご用命に先輩たちが全力で応えることにより、現在の社会や暮らしが実現するための一翼を担うとともに、「IHI 力」を蓄えてまいりました。

第一次産業革命から第三次産業革命に至る流れの上で成り立っている地球や社会は、今やさらに大きな変化を必要としています。地球の気候変動対処に関する2050年をターゲットにした国際的枠組みであるパリ協定、2030年までをターゲットにした国際連合の持続可能な開発目標(SDGs)は、私たちが変化に向けて努力すべき方向を指し示すべく策定されたものです。

IHIグループは、これら目標の実現に向けて練り広げられる、これからの人類の物語の一翼を担っていく存在であり続けたいと願い、そうあろうと決意しています。そのために、新しい「IHI 力」を蓄え、「技術をもって社会の発展に貢献する」ために日々活動しています。

本号では、その活動の一端をご紹介します。本号の記事をきっかけにして、読者の皆さまとIHIグループとが社会の好ましい変化に向けて共に取り組んでいけるように期待しています。

